

巻 頭 の こ と ば

平成24年度に執行いたしました本市行政事務について、その概要を報告いたします。

さて、昨年12月の衆議院議員選挙により、3年半ぶりに政権が変わりました。新政権は、長引く不況を克服すべく緊急経済対策を打ち出しておりますが、今後の好転の兆しにつきましては、依然として不透明な状況でございます。

本市におきましては、東日本大震災における津波災害、東京電力福島第一原子力発電所事故等を教訓に、地域防災計画の全面修正を行うとともに、島根原子力発電所事故を想定した広域住民避難計画を策定いたしました。また、大阪府河内長野市との災害時相互応援協定の締結、さらには津波発生時における一時避難所としての加盟旅館の使用に関する協定を皆生温泉旅館組合と締結したほか、海拔表示板の設置、津波ハザードマップの全戸配布を行うなど、津波に対する備えを強化したところでございます。

一方、経済に目を向けますと、崎津地区におけるソフトバンク・三井物産等による国内最大級の規模となる大規模太陽光発電施設（メガソーラー）の進出等が決定したところでございます。

また、国際まんが博・国際マンガサミット鳥取大会・ヨナゴワンダー！などの「まんが王国とっとり」建国イベントを開催し、大盛況のうちに幕を閉じることができました。

さらに、行政区域を超えた連携としては、中海市長会に出雲市と大山圏域が加わり、中海・宍道湖・大山圏域市長会が新たに発足いたしました。今後、この圏域のさらなる発展を目指し、連携を強化してまいりたいと考えております。

市政運営に当たりましては、「公平、公正な行政執行」を基本姿勢としながら、「ひとをまちづくりの中心とする」、「生活の質を高める」、「将来に向かって発展する基盤をつくる」、「ともにまちづくりを進める」の四つの視点を基本とし、魅力あふれるまちとしての将来像を描き、鳥取県西部圏域はもとより、中海圏域の中核都市としてさらなる発展を遂げていくため、地域のポテンシャルを活かしたまちづくりに全力で取り組んでまいり決意でございます。

そして、市議会議員各位のご指導をはじめ、市民の皆様のご意見とご協力をいただきながら「生活充実都市・米子」を目指し、引き続き市政運営にまい進する所存でございます。

どうか、一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年8月

米子市長 野 坂 康 夫